



森林整備現場見学会レポート

山梨県

はじめに

県土の78%を占め、県民の暮らしを支えるかけがえのない山梨の森林を、健全な姿で未来に引き継いでいくため、平成24年4月から森林環境税を導入しました。

この森林環境税を活用して行っている事業の効果を、県民の皆様に直接実感していただくために、「森林整備現場見学会」を開催しましたので、内容を報告します。

国中コース

平成26年10月7日(火) 参加者56名(申込者65名)

- 南アルプス市平岡地内の間伐実施箇所を見学
- 森林総合研究所研究員による「森林のはたらきについて」の講座
- 森林総合研究所内の施設見学

郡内コース

平成26年10月9日(木) 参加者22名(申込者27名)

- 都留市大野地内の間伐実施箇所を見学
- 森林総合研究所研究員による「森林のはたらきについて」の講座
- 富士山科学研究所での「森のガイドウォーク」

国中コース [平成26年10月7日(火)]

台風18号の影響が心配されましたが、当日は台風一過の晴天に恵まれたので、予定どおり開催しました。

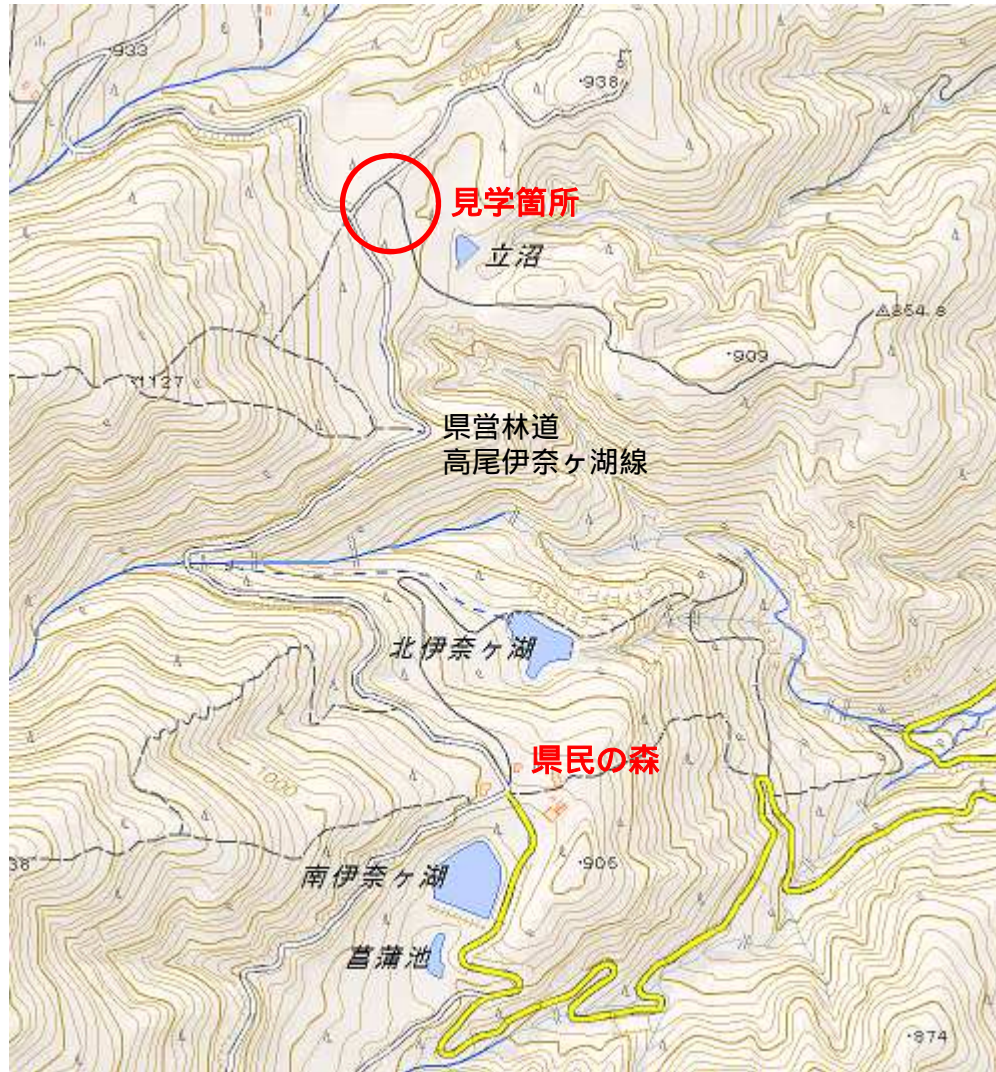


県庁、及び甲斐市双葉ふれあい文化館からバス4台で
櫛形総合公園駐車場に集合です。



開始式を行いました。

開始式の後、南アルプス市平岡地内の現場に移動し、間伐作業中の現場を見学しました。



40～50年生のヒノキ・カラマツの人工林です。
間伐の結果、林の中が明るくなりました。

楡形山の中腹、県営林道高尾伊奈ヶ湖線沿線の
間伐の現場を見学しました。

現場にて、森林の公益的機能や森林環境税を活用して行っている各事業の内容を、担当職員から説明しました。



現場の概要や作業内容などを担当職員が説明。



皆さん熱心に見学されていました。
多くの質問やご意見をいただきました。

林業の現場も機械化が進んでいます。現場で使用した高性能林業機械も見ていただきました。また、間伐後の林内にも足を踏み入れていただきました。



「ハーベスタ」という、立木の伐倒・枝払い・玉切り・集積の作業を一貫して行う高性能林業機械です。興味深く説明を聞かれていました。



間伐後の林の中に入り、森林土壌の状態などを観察しました。

いよいよ、本日のメインイベント、「伐採作業の見学」です。
中央森林組合の職員の皆さん、よろしくお願いします！



普段は静かな山ですが、この日は大勢のギャラリーで賑わいました。

映画「WOOD JOB」さながらの、迫力ある伐採作業を見学させていただきました。



伐倒方向を定めるため、牽引用のワイヤーを設置します。



チェーンソーで伐倒側に「受け口」を切り込み、その後、反対側から「追い口」を切り込みます。

安全作業で伐採完了！静かな山に大歓声が響き渡りました。



見事、予定どおりの方向に伐倒できました。



参加者からの質問にも答えていただきました。
森林組合の皆さん、ありがとうございました。

午後の部を行う森林総合研究所へ向けて移動です。



現場見学お疲れ様でした。あっという間に時間が過ぎてしまいました。



森林総合研究所の芝生公園での昼食です。木々も色づき始めています。

森林総合研究所研究員の講座を聞きました。



同所の長池主任研究員による「森林のはたらきについて」のお話です。北岳で行っているニホンジカの生態についての研究内容も説明しました。皆さん非常に熱心にお聞きいただき、講座後は質問が絶えない状況でした。

講座の後は、研究所内を見学していただきました。



広々とした研究所のロビーには、最近の研究成果のパネルなどが展示されています。



普段は見ることのできない研究室も見学していただきました。

森の教室も見学させていただきました。



きのこの標本や、いろいろな木で作られた木工品などを見ていただきました。

森林総合研究所にて解散式を行いました。



無事にすべての日程が終了しました。
長時間に渡りお付き合いいただき、ありがとうございました。

郡内コース [平成26年10月9日(木)]

この日も晴天に恵まれました。南都留合同庁舎駐車場にて開始式を行いました。



県内各地から南都留合同庁舎へお集まりいただき、開始式を行いました。
開始式の後、バス2台にて、都留市大野の現場へ移動しました。

都留市大野地内の現場に移動し、平成24年度に間伐を行った現場を見学しました。



35～50年生のヒノキの人工林です。
間伐の結果、林の中が明るくなり、
林床部が下層植生に覆われています。

文台山登山道沿いの間伐の現場を見学しました。

現場にて、森林の公益的機能や森林環境税を活用して行っている各事業の内容を、担当職員から説明しました。



現場の概要や作業内容などを担当職員が説明。



森林土壌についての説明状況です。
皆さん熱心にお聞きいただきました。

森林内に足を踏み入れ、間伐前後の違いなどを実感していただきました。



フワフワなクッション性のある林内を歩いていただき、森林の保水機能などについて体感していただきました。

間伐により健全な状態に生まれ変わった森林を見学しました。



登山道も歩いていただきました。



間伐の結果、下層植生に覆われた森林を見学。
徐々に健全な状態へと移行しています。

現場見学の後、都留市大野地内にある (株)炭香 さんの取り組みについてお話を伺いました。

(株)炭香さんでは、県産の間伐材を材料として生産した木炭を、様々な製品に加工・販売しています。森林環境税の活用事例ではありませんが、間伐材を利用した地域振興に力をいれている企業ということで、今回お話を伺いました。



(株)炭香にて、同社取締役社長の小俣さんからお話を伺いました。非常に興味深いお話をいただきまして、ありがとうございました。

午後からは、富士吉田市の富士山科学研究所にて、
森林総合研究所研究員の講座を聞きました。



国中コースと同様に、森林総合研究所の長池主任研究員による「森林のはたらきについて」のお話です。
参加者の皆さんは非常に熱心に聞いておられました。

講座の後は、「森のガイドウォーク」を楽しんでいただきました。



富士山科学研究所のスタッフに、同研究所周辺の「森のガイドウォーク」に連れて行っていただきました。楽しく丁寧な説明で、皆さん満足されていました。ありがとうございました。

富士山科学研究所にて解散式を行いました。



この日も無事にすべての日程を終了できました。
長時間に渡りお付き合いいただき、ありがとうございました。

おわりに



今回、初めての試みとして、この「森林整備現場見学会」を開催しました。参加者の皆様にアンケートにご協力いただいたところ、「見学会に参加してよかった」「税の使いみちや森林のはたらきについて理解できた」などの回答を82%の方からいただくことができました。

今後も、森林環境税の普及啓発に併せ、山梨県の豊かな森林について、県民の皆様にご理解いただけるように取り組んで参りたいと思います。

